

平成19年度に水道事業基本計画の中で需要予測、事業計画、目標年度等の見直しを行いたいと考えています。

問 北総中央用水を飲料水に使ったらどうかと市民の声もあるが可能なのか。

市長 現状では本来の目的である農業用水として効果を最大限に発現させるよう事業の推進を図っているところです。

教育問題

問 授業時間の削減で学力の低下が問題視されているが市内の小中学校の現状はどうか。また、市教育委員会はどう捉えているのか。

教育長 本市の子供達の学力は、県標準学力テストから見ると平均よりやや劣りますが、本市の恵まれた自然環境の中、自然体験・生活体験など子供達の学びを支える体験活動はいろいろな場合を通じて展開され、人やものに関わる力は、幼小中高連携教育の成果として高まっていると捉えています。

問 いじめ認知件数は84件、中学校は83件でその殆どは解決しています。

問 八街市内の小中学校の不登校の現状はどうか。又、対策はどの様にとっているのか。

教育長 1月末の不登校者数は小学校34名、中学校132名です。担任はもとより生徒指導担当を中心にして対策会議を開き、スクールカウンセラーの活用、校内適応教室の利用、家庭訪問を実施したりと様々な対応を講じています。

問 家庭教育、児童生徒の保護者の意識改善対策はどの様に行われるのか。

教育長 各幼小中学校ごとに家庭教育学級を開設し、1学級15時間以上のプログラムを実施しており、その内の4時間を各学級合同の家庭教育講演会とし、年2回家庭教育の専門家や著名人による講演会を行い、保護者の意識改革の一助としています。



市長 平成14年12月の市長選挙は29・88%、15年4月の県議会議員選挙は30・78%、15年8月の市議会選挙は55・72%、18年11月の市長選挙は36・53%です。

問 国民の選挙に対する関心がうすくなっていると思うが、関心をもってもらい、投票率を上げる手立ては何か。

市長 常時啓発として小学生を対象にしたポスターや標語の募集、中学生では生徒会の選挙時に記載台や投票箱の貸出しにより選挙の仕方の学習、成人式では啓発物資を配付しています。

個人
質問
山口 孝弘

八街駅北側地区土地区画
整理事業

問 八街駅北側地区土地区画整理事業の進捗状況と今後の整備計画について。

市長 進捗状況は事業費ベースで平成18年度末約76%となる見込みです。今後は、北口駅前広場東側に鉄骨造り2階建ての自転車駐車場と1千140㎡の公園整備などを予定しています。

問 長谷川市長の八街駅北側地区土地区画整理事業への考えを伺う。

市長 市の玄関口としてふさわしい街づくりをするため、市の重要事業の一つとして位置付け、駅周辺の商業の活性化を図る上でも重要な事業と考えています。

行政問題

問 税金力口リー表示について。

市長 自治体ごとに地域環境や課題、まちづくりの目標が異なることから必然的に重点を置く事業も異なり、他の自治体と比較すると同一の事業でも税金の投入額が異なります。本指標の使いみち、効果などを検討して実施の必要性などについて判断したいと考えます。

問 選挙管理委員会事務局長 市関係の選挙は、投票日当日に開票事務を行っていますが、選挙結果を速やかに知らせることが最も大切であるという考えのもと即日開票する考えであり、開票事務の正確性や公平性を担保しつつ、事務の効率化を図り開票時間を短縮し経費の節減に努めたいと考えています。

信号機設置問題

問 四木地区一休さん付近信号機設置計画、進行状況について。

市長 土地所有者のご理解が得られたので、平成19年度は用地測量、物件調査、警察との交差点協議等を行い、その後用地取得、改良

農地へのごみ投棄問題

問 ごみ投棄について市の措置や対応を伺う。また、更なる措置や対応は考えているのか伺う。

市長 ポイ捨てを防止することを目的に「八街市さわやか環境づくり条例」が施行され、市民、事業者、土地所有者や市が一体となって清潔で美しい街づくりを進めています。引き続き、広報紙等を通じてポイ捨て防止に努めたいと考えています。



▶四木地区一休さん付近